

※今月のみ受注の書目です。

ロシア政治 で担当者さま

スターリンの極東戦略 1941-1950 (仮)

インテリジェンスと安全保障認識 (2023 年 8 月上旬刊行予定)

河西陽平 (公益財団法人中曽根康弘世界平和研究所研究助手)[著]

A5 判上製 / 336 頁 税込予価 4,950 円 ISBN978-4-7664-2911-4 C3031

👉 ココに注目!

- ・スターリンは独ソ開戦後、日本や極東情勢をいかに認識し、その後、朝鮮戦争開戦にどのように関わったのか?
- ・プーチンの現代ロシアを理解するうえでも重要な、その極東戦略と行動原理を読みとく。

スターリンは独ソ開戦後、日本の対ソ動向をどのように認識し、中国との条約締結に際してどのような安全保障構想を描いたのか。そして朝鮮半島での軍事衝突をどのように捉えたのか。ソ連崩壊後閲覧可能となった機密解除文書を主な一次史料として、スターリンの極東戦略を明らかにする。

対象 ロシア・ソ連外交・国際政治に関心のある読者／研究者

類書 オレーク・V・フレヴニューク『スターリン 独裁者の新たなる伝記』(白水社)

【営業部からのおすすめポイント】

スターリンの過剰ともいえる防衛意識は「危険が全く存在しない」状態に対する飽くなき欲求であり、こうした姿勢は現代のロシアにも通じます。脅威認識に基づいて自国の安全を図ろうとする動きが、外部世界にとっては膨張・侵略行動となるのです。スターリンの行動は、同時代の国際情勢、敵とのパワーバランスに関するある意味で合理的な判断に基づくものであったことを一次資料から読みときます。

(福本)

👉 主要目次、注文書、関連既刊を裏面に掲載! ぜひご確認ください!

【主要目次】

序 章

第一章 独ソ開戦とソヴィエト連邦の対日情勢認識（1941 年）

第二章 ソヴィエト連邦の対日軍事戦略と諜報（1941 年秋—1942 年春）

第三章 ソ連の対日情勢認識と戦争準備（1942—1945 年）

第四章 中ソ条約締結交渉の再検討と極東におけるソ連の安全保障

第五章 スターリンの地政学的関心と朝鮮半島

第六章 スターリン、毛沢東と東アジアにおける革命運動の「責任範囲」

第七章 朝鮮戦争開戦要因としての中ソ友好同盟相互援助条約

第八章 開戦に向かう共産圏諸国

終 章



ご注文は FAX で！ 03－3451－3124



新刊委託	番線	ご注文部数	発行所：慶應義塾大学出版会	税込予価	部数
			河西陽平 著 スターリンの極東戦略 1941－1950（仮） ーインテリジェンスと安全保障 I S B N 9 7 8 - 4 - 7 6 6 4 - 2 9 1 1 - 4 C 3 0 3 1	4,950 円	★★

関連既刊（ぜひ併せてご注文ください！）

返品条件付注文品	番線	ご注文部数	発行所：慶應義塾大学出版会	定価(税込)
			ピーター・ポマランツェフ 著／池田年穂 訳 プーチンのユートピア ー21世紀ロシアとプロパガンダ I S B N 9 7 8 - 4 - 7 6 6 4 - 2 5 1 2 - 3 C 0 0 3 0	3,080 円
			立石洋子 著 スターリン時代の記憶 ーソ連解体後ロシアの歴史認識論争 I S B N 9 7 8 - 4 - 7 6 6 4 - 2 6 8 1 - 6 C 3 0 2 2	4,950 円

★1つで「500 部」を表します